

- 成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会，札幌，2012.9.7
- 13) 若林朝子，小林桜児，竹田典子，今村扶美，松本俊彦：在日外国人女性薬物依存症患者に対する SMARPP-Jr. を用いた個別依存症教育プログラムの試み。平成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会，札幌，2012.9.8
- 14) Naomi Matsuura, Hiroshi Tomita, & Masami Shoji: Teaching-Family Model in Japan - Effective treatment for juvenile delinquents who have been exposed to serious child abuse-. 35th Annual Teaching-Family Association Conference. Richmond, Virginia. November 12 (2012).
- 15) 引地和歌子，柴田幹良，谷藤隆信，阿部伸幸，福永龍繁：東京都 23 区内における自殺と物質乱用の関連について。第 96 次日本法医学会学術全国集会。アクトシティ浜松（静岡県浜松市）2012 年 6 月。
- 16) 引地和歌子，柴田幹良，谷藤隆信，阿部伸幸，福永龍繁。東京都 23 区内における自殺と物質乱用の関連について：平成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術集会。札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）2012 年 9 月
- 17) 柴田幹良，加藤幸久，前田雅子，谷藤隆信，阿部伸幸，引地和歌子，福永龍繁：東京都 23 区内における薬毒物関連自殺者の現状。札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）2012 年 9 月
- 18) 松本俊彦：誰にでもできる薬物依存症治療。シンポジウム 23 薬物依存症臨床における倫理～医療の立場と司法の立場。第 108 回日本精神神経学会学術総会，2012.5.25，札幌。
- 19) 松本俊彦：薬物依存の基礎から臨床、そして日常診療との関わりについて。シンポジウム 38 認知行動療法を取り入れた包括的外来治療プログラムの必要性。第 108 回日本精神神経学会学術総会，2012.5.25，札幌。
- 20) 今村扶美，松本俊彦，小林桜児，和田清：司法関連施設における薬物依存離脱指導の効果に関する研究（2）：女性の薬物乱用者を対象とした介入。平成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会，2012.9.7，札幌
- 21) 高野歩，川上憲人，宮本有紀，松本俊彦：物質使用障害患者に対する認知行動療法プログラムを実施する医療従事者の態度の変化。平成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会，2012.9.7，札幌
- 22) 若林朝子，小林桜児，竹田典子，今村扶美，松本俊彦：在日外国人女性薬物依存症患者に対する SMARPP-Jr. を用いた個別依存症教育プログラムの試み。平成 24 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会，2012.9.8，札幌

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）
なし

(別掲5)

研究成果の刊行に関する一覧表

開発教材

研究分担者名	対象者	教材タイトル
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 薬物依存症の多様性と人それぞれの回復について知る (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 薬物依存症の多様性と人それぞれの回復について知る (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 「家族の病気」としての薬物依存症 (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 「家族の病気」としての薬物依存症 (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 本人の望ましくない行動を増やし、望ましくない行動を減らす (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 本人の望ましくない行動を増やし、望ましくない行動を減らす (ファシリテーター用マニュアル)
近藤あゆみ	家族	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 暴力への対応 (家族向け教材)
近藤あゆみ	ファシリテーター	薬物依存症者をもつ家族を対象とした心理教育プログラム 暴力への対応 (ファシリテーター用マニュアル)

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体 編集者名	書籍名	出版社名	出版 地	出版 年	ページ
和田清、尾崎茂、近藤あゆみ、嶋根卓也	I 物質依存 2. わが国の物質乱用・依存の疫学と動向	福居顕二	専門医のための精神科臨床リュミエール 26	中山書店	東京	2011	14-27
近藤あゆみ	薬物依存症者の家族がもつ多様なニーズを満たすための家族心理教育プログラム開発に関する研究－薬物依存症者をもつ家族の支援を行う関係機関職員を対象とした調査結果から－	新潟医療福祉大学 社会福祉学部	社会福祉の可能性	株式会社 相川書房	新潟	2011	3-12
和田清	薬物乱用	(監修) 五十嵐隆	日本医師会雑誌 第 141 巻・特別号 (1). 生涯教育シリーズ 82「小児・思春期診療 最新マニュアル」	日本医師会	東京	2012	S262-S263

嶋根卓也	医者や薬局のくすりなら大丈夫？	松本俊彦 ＝編	中高生のためのメンタル系サバイバルガイド	日本評論社	東京	2012	74-79
松本俊彦	IV. 薬物関連精神障害の治療のプロセスと選択肢. 6. ワークブックを用いたグループ治療プログラムの実際	日本精神科救急学会	精神科救急医療ガイドライン: 規制薬物関連精神障害 2011年版	へるす出版	東京	2012	80-86

雑誌

発表者名	論文タイトル名	発表紙名	巻	ページ	出版年
和田清、小堀栄子	薬物依存と HIV/HCV 感染－現状と対策－	日本エイズ学会誌	13	1-7	2011
和田 清, 嶋根卓也, 船田正彦	わが国における薬物乱用・依存の最近の特徴	日本社会精神医学会雑誌	20	407-414	2011
嶋根卓也	思春期における薬物乱用の実態と対策	産婦人科治療	10 3	144-150	2011
嶋根卓也	思春期における薬物乱用の実態と予防	思春期学	29	13-18	2011
嶋根卓也	薬局薬剤師を情報源とする向精神薬の乱用・依存の実態把握に関する研究	埼玉県薬剤師会雑誌	37	17-21	2011
嶋根卓也	薬剤師から見た向精神薬の過量服薬	精神科治療学	27	87-93	2012
Matsumoto T, Chiba Y, Imamura F, Kobayashi O, Wada K	Possible effectiveness of intervention using a self-teaching workbook in adolescent drug abusers detained in a juvenile classification home	Psychiatry and Clinical Neurosciences	65	576-583	2011
松本俊彦, 尾崎茂, 小林桜児, 和田清	わが国における最近の鎮静剤（主としてベンゾジアゼピン系薬剤）関連障害の実態と臨床的特徴－覚せい剤関連障害との比較－	精神神経学雑誌	11 3	1184-1198	2011
松本俊彦	薬物依存臨床から見えてくる精神科薬物療法の課題－「全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査」の結果より－	精神科治療学	27	71-79	2011
松本俊彦, 今村扶美, 小林桜児, 和田清, 尾崎士郎, 竹内良雄, 長谷川雅彦, 今村洋子, 谷家優子, 安達泰盛	PFI (Private Finance Initiative) 刑務所における薬物依存離脱指導の効果に関する研究: 自習ワークブックとグループワークによる介入－第1報－	日本アルコール・薬物医学会誌	46	279-296	2011
小林桜児, 松本俊彦, 今村扶美, 和	PFI (Private Finance Initiative) 刑務所における薬物依存離脱指導の効果	日本アルコール・薬物医学会誌	46	368-380	2011

田 清, 尾崎士郎, 竹内良雄, 長谷川 雅彦, 今村洋子, 谷家優子, 安達泰 盛	に関する研究: 自習ワークブックとグ ループワークによる介入—第2報: 重 症度別による効果の分析—				
松本俊彦	認知行動療法を取り入れた包括的外来 治療プログラムの必要性	日本社会精神医学会雑誌	20	415-419	2011
松本俊彦	依存・嗜癖における強迫性・衝動 性と薬物療法	精神神経学雑誌	11 33	999-100 7	2011
松本俊彦, 嶋根卓 也, 尾崎 茂, 小 林桜児, 和田 清	乱用・依存の危険性の高いベンゾジア ゼピン系薬剤同定の試み: 文献的対照 群を用いた乱用者選択率と医療機関処 方率に関する予備的研究.	精神医学	54	201-209	2012
庄司 正実	児童自立支援施設における薬物乱用の 動向	日本社会精神医学会雑誌	20	393-398	2011
森田展彰, 岡坂昌 子, 谷部陽子, 近藤 あゆみ, 高橋郁絵, 岩井喜代仁, 栗坪千 明, オーバーヘイ ム・ポール, 福島シ ョーン, 鈴木文一, 小松崎未知	薬物問題を持つ人の家族に対する心理 教育プログラムの研究—長期的な再発 防止・回復にむけた家族のスキルトレ ーニング—	日本アルコール問題関連学 会雑誌	13	149-158	2011
和田 清	薬物乱用の問題点—医学的視点から— 第三回 中学生対象の全国調査からわ かること	少年写真新聞社 中学保健 ニュース	第 15 22 号 付 録	10-11	2012
今村扶美, 松本俊 彦, 小林桜児, 和 田 清	心神喪失者等医療観察法における物質 使用障害治療プログラムの開発と効果	精神医学	54	921-930	2012
松本俊彦	薬物依存症に対する新たな治療プログ ラム「SMARPP」: 司法・医療・地域に おける継続した支援体制の構築を目指 して	精神医学	54	1103-111 0	2012
松本俊彦, 成瀬暢 也, 梅野 充, 青 山久美, 小林桜児, 嶋根卓也, 森田展 彰, 和田 清	Benzodiazepines 使用障害の臨床的特 徴とその発症の契機となった精神科治 療の特徴に関する研究.	日本アルコール・薬物医学 会雑誌	47	317-330	2012

平成23～24年度厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

薬物乱用・依存等の実態把握と
薬物依存症者に関する制度的社会資源の
現状と課題に関する研究

(H23-医薬-一般-014)

平成23～24年度
総合研究報告書

研究代表者：和田 清（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所）

2013年3月31日 発行

